

中部WIN第8期 第1回 開催レポート

開催日時：令和7年8月1日（金）13:30～17:30
※10:30～12:00に受講ガイダンスを含むオリエンテーションを実施

●主催者挨拶 寺村 英信／中部経済産業局長

中部WINは、今年で8回目の開催となる。関係者の皆様のご協力の下、昨年度までに、規模・業種を問わず幅広い組織から計201名の女性に受講していただき、中部WINの卒業生を中心の有志による「中部WIN自主コミュニティ」が立ち上がるなど、女性リーダー同士のネットワークも広がっている。今年度は、初の試みとして、一部のプログラムでは、職場の皆様と共にご参加いただくことにした。受講生がグループワークで検討する「女性管理職を増やす取組」を職場に持ち帰り、行動に移しやすくすることを狙いとしている。この機会に受講生、職場の皆様が企業や性別、立場を超えて交流していただくことで、新たな気づきや学びがあれば幸いである。



●講演「人が集まるダイバーシティ経営の進め方」 大橋運輸株式会社 代表取締役社長 鍋嶋 洋行 氏



人口減少社会において採用がこれからの経営課題になると考え、10年以上前から採用力を強化。具体的には、ダイバーシティ経営、社員の満足度の向上のための成長支援や健康経営、価格競争に陥らないためのビジネスモデルの強化及び地域で最も信頼される会社になるための地域活動に取り組んでいる。

ダイバーシティ経営は、女性活躍の推進から始め、勤務体系を整備し、幅広い職種に女性を起用。特に職場環境や事業付加価値向上に携わる部署で多くの女性が活躍している。ダイバーシティ経営も健康経営も余裕がある会社のみならず、全ての会社が必要がある。トライ＆エラーを繰り返しながら、出来ることから取り組んでいただきたい。

●講演「アンコンシャスバイアスから考える職場のジェンダー平等」 相山女学園大学 人間関係学部 教授 吉田 あけみ 氏

アンコンシャスバイアスは無意識の思い込みのことで、誰にでもありうることだが、ジェンダーに関しては配慮のつもりが可能性を狭めてしまうことにつながることもある。人によって考え方、価値観は様々ということや自分のアンコンシャスバイアスに気づくことが重要である。問題解決に行き詰まったときは、先入観や固定観念から自由になり、多角的な視野で検討することで新たなアイデアが生まれることもある。

多様な人材が働く職場で多様な価値観の中でコンセンサスをとることは非常に難しいが、多数決ではなく全員が納得できる結論が導き出されるよう合意形成することは、よりよい結果を出すために重要なことである。



●グループワーク「女性管理職を増やすための取組」



●グループ A



●グループ B



●グループ C

